

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会学(ソーシャルワークのための社会学)			授業コード	E040951
担当教員名	奥田 憲昭				
配当学年	2年後期	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2単位		
履修上の注意または履修条件					
受講心得	講義をよく聞くとともに、教科書を用いて予習・復習を行い、なんども反復学習を行うこと。私語は禁止する。				
教科書	『社会理論と社会システム』 久門道利編 弘文堂				
参考文献及び指定図書	授業で参考図書を紹介する。				
関連科目	高齢者福祉論・保健医療サービス				

授業の目的	社会福祉士試験を受験し、合格できる力を付ける。
授業の概要	授業は、教科書に沿って社会学の基本問題を取り上げる。毎回講義内容に関係したテーマで小テストを行う。評価は出席・小テスト・期末試験で評価する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>社会学の潮流と社会システム</b>	予習:教科書序章1頁～18頁
1. 社会学の課題と歴史、2. 社会システムの概念について学修する。	を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第2週: 日常生活と社会的相互行為</b>	予習:教科書第1章19頁～32
1. 日常性の社会学、2. 社会関係と社会的孤立、3. 社会的相互行為と秩序、4. 社会的行為論について学修する。	頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第3週: 社会生活と社会集団</b>	予習:教科書第2章33頁～48
1. 社会関係と社会集団、2. 社会集団の類型、3. 集団と組織について学修する。	頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第4週: 現代家族の変容と課題</b>	予習:教科書第3章49頁～62頁
1. 家族とは何か、2. 制度としての家族と集団としての家族、3. 家族形態と構造の変化、4. 家族機能、5. 家族周期について学修する。	を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第5週: 法と社会システム</b>	予習:教科書第4章63頁～72
1. 法と社会規範、2. 社会と法の発展、3. 法と社会システム、4. 逸脱について学修する。	頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第6週: 経済と社会システム</b>	予習:教科書第5章77頁～92
1. 経済の社会化と市場経済の概念、2. 社会的分業と労働、3. 社会的交換と社会システムについて学修する。	頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第7週: 組織と官僚制</b>	予習:教科書第6章93頁～
1. 組織の概念、2. 官僚制の生成と発展、3. 組織と環境、4. ネットワーク論について学修する。	106頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第8週: 社会構成</b>	予習:教科書第7章107頁～
1. 社会と人口、2. 産業と職業構成、3. 社会構成の変化と社会福祉について学修する。	118頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第9週: 生活構造</b>	予習:教科書第8章119頁～
1. 生活構造の概念、2. 生活構造の変化、3. 生活の質、4. 高度消費社会論、5. ライフスタイルとライフコース、生活の指標化について学修する。	140頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第10週: ジェンダー</b>	予習:教科書第9章141頁～
1. ジェンダーとは何か、2. 性別分業と性差別、3. 現代社会の変化とジェンダー、4. 男女共同参画社会	154頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第11週: 都市化と地域社会</b>	予習:教科書第10章155頁～

1. 地域社会とコミュニティ、2. 地域社会と農村、3. 地域社会と都市、4. 地域社会の過疎問題、5. 地域社会の集団について学修する。		168頁を読んでおく。復習：繰り返し教科書を読む。
第12週：人口構造と人口問題 1. 人口現象と人口研究、2. 世界の人口問題、3. 日本の人口問題について学修する。		予習：教科書第11章169頁～185頁を読んでおく。復習：繰り返し教科書を読む。
第13週：社会変動と社会運動 1. 社会変動の概念、2. 産業化・工業化と社会変動、3. 都市化と社会変動、4. 社会変動とは何かについて学修する。		予習：教科書第12章187頁～240頁を読んでおく。復習：繰り返し教科書を読む。
第14週：情報化と国際化 1. 社会的企業とはなにか、2. 社会的企業の組織形態、3. 社会的企業の事例、4. ソーシャル・アントレプレナーの役割について学修する。		予習：教科書第13章201頁～214頁を読んでおく。復習：繰り返し教科書を読む。
第15週：社会政策・社会計画・社会福祉 1. 社会政策と社会福祉、2. 社会計画と社会福祉計画、3. 福祉社会における福祉専門職について学修する。試験について説明する。		予習：教科書第15章231頁～244頁を読んでおく。復習：繰り返し教科書を読む。
第16週：期末試験		試験勉強をする。
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	教科書で予習をし、講義をよく聞き、復習をする。
【知識・理解】	講義で取り上げた内容を理解する。
【技能・表現・コミュニケーション】	授業で与えられた課題をまとめる。
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	40点			
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	50点			
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	10点			
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	出席・小テスト・期末試験で総合的に評価する。
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	